

# 地域活性化支援組織 LiNKs(名古屋学院大学)

## 活動実績調書

### 1 活動内容

(1) 活動の名称	IT講習会 ～瀬戸でITに触れてみよう～
(2) 活動の目的・成果 (※何を目指し、何が成果として得られたかについて記載)	<p>本団体はITを扱える人と扱えない人との間に広がる情報格差＝デジタルデバイドを解消するため、瀬戸市のシニア層の方を対象にしたIT講習会を開催しました。瀬戸市民が情報発信者として活躍できるまでのスキルアップやITリテラシーの向上を図り、私たち学生も講師やアシスタントという貴重な活動を通して社会人基礎力向上といったスキルアップができました。また、最終講座にて行ったアンケート（8月25日実施）の結果では、100%の受講者（22名）からご満足をいただくことができました。</p>
(3) 活動の実施内容 (※活動の実施方法、時期、場所、回数、市民等への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)	<p>IT講習会 ～瀬戸でITに触れてみよう～ 日時 8月22日～8月25日の4日間で8回実施 場所 名古屋学院大学 瀬戸キャンパス 周知方法 「広報せと」7月15日号に掲載していただき宣伝できたため、募集後1週間以内で締め切り 参加人数 学生39人 受講者30人/1回（講座によって変動あり） 内容 瀬戸市のシニア層の方を対象にIT講習会を開催。団体予算が減る中、十分な交通費を得ることができずマンツーマン体制を組みきれない回が出てきたため、ティーチングアシスタントの人数調整を行った。講座としてはタブレットの基礎知識から、wordでの年賀状の作成や、Excelをもちいた家計簿の作成、TwitterやLINEなどのSNSのティーチングを行った。</p>
(4) 活動実施上の工夫 (※活動の趣旨・目的達成のため、特に創意工夫した点について記載)	<p>受講者一人ひとりに学生がティーチングアシスタントとして付くマンツーマン体制で講習会に臨みました。十分な交通費が得ることができない中、マンツーマン体制を確立するために各回ごとに調整を行いました。また、講師役の学生は事前に授業内容を吟味し、授業内容を満足して頂ける様に務めました。さらに講習会を円滑に進行するために、学生で協力し独自の教科書を作成しました。</p>
(5) 活動実施上の反省点 (※具体的な反省点等について記載)	<p>今年度は例年と比べ講習会の開催日を早めたため多くの方に受講していただくことができませんでした。このことを踏まえ、今後は例年通り9月の開催を検討したいと思います。また、受講者のニーズに答えることができるよう、ティーチングアシスタント間の連携を強化するとともに、適切な進行ができるように講義内容をさらに練っていきたいと思います。</p>

(注) 活動に関する参考資料をA4サイズ5枚程度で添付してください。